

2022年度 「正会員に対する活動助成」活動報告書

(フリガナ) 団体名	コウエキシャダンホウジン ナガノケンシャカフクシシカイ 公益社団法人 長野県社会福祉士会
---------------	---

■活動報告の詳細

活動名称	「入会促進に向けた情報発信プロジェクト」
活動の目的	<p>入会を一層進めるため以下の取組みを進め、県士会の魅力や組織の強みを生かした新たな長野県社会福祉士会のイメージを創り、30周年を新たなスタートとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホームページを一新し、会の魅力や強みをアピールし、メッセージ性があり、親しみ易い内容に構築する。 2. 「ブランディング」の取組みを通し 20代の若い会員等幅広く巻き込み、会のブランド構築を進め組織の一体感や活動を盛り上げるエネルギーを醸成する。 3. 「ブランディング」で構築した県士会のブランドコンセプトをホームページ等に反映する。
実施した活動の内容 会議・研修会・イベント等の開催日時、場所、参加者数等の活動内容の詳細を記入 ※別添（様式自由）にて提出可	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブランディングの取組み 20代の会員10名により5回のセッションを行い長野県社会福祉士会の「ブランドアイデンティ」を策定した。 <ul style="list-style-type: none"> ●第1回ブランディング 11月8日（火）18：30～Zoom8名参加 ①自己紹介②ブランディングの説明と進め方の確認③3C分析(当会の良い点、他団体にない強み、有資格者の求め) ●第2回ブランディング 11月16日（水）18：30～Zoom7名参加 ①「こんなホームページがいいな」の発表 ②ターゲットは誰か、何を期待されているか ③長野県社会福祉士会の強み、特徴 ●第3回ブランディング 11月30日（水）18：30～Zoom8名参加 ①どんなブランドか（こう思われたいを文章化）②ブランド・アイデンティティ案だし ③ホームページ掲載内容の検討 ●第4回ブランディング 12月8日（木）18：30～Zoom7名参加 ①ブランド・アイデンティティを一つにまとめる意見交換 ②ホームページ掲載内容の検討 ●第5回ブランディング 12月16日（水）18：30～Zoom7名参加 ①ブランド・アイデンティティ決定 ②ホームページのイメージ 2. ホームページ作成 ①内容の整理 ②魅力の打ち出し方 ③会員用ページの活用 12月から打合せ作成に着手 令和5年3月完成

活動の成果

1. ブランド・アイデンティティの策定
 - (1) ターゲットは誰か（長野県内に住む20代から30代の社会福祉士有資格者）
 - ・向上心があり、勉強したい意欲がある
 - ・学んだことを現場の仕事に活かし問題を解決したい
 - ・仲間を増やし横のつながりをつくりたい
 - ・業務の不安を払拭したい
 - (2) 社会福祉士会の特徴、魅力的なところは何か
 - ・多分野で多様な職種の人、年齢層が広い人がいる
 - ・他分野の気づきを得ることができる
 - ・県内のソーシャルワーカーとのつながりを持っている
 - ・同じ資格をもつ色々な職種の方と横のつながりがある
 - ・専門分野でのスキルアップ、ステップアップできる制度がある
 - (3) 何故社会福祉士会に入ることをお勧めするのか（提供の価値）
 - ・その人らしさを実現
 - ・自信を持ってもらえる
 - ・仕事のモチベーションにつなげる
 - ・人々の暮らしを支える
 - ・知識や技術を得て、利用者の幸せにつなげる
 - (4) 社会福祉士会に入会を勧めるかの価値の裏付け
 - ・豊かなつながりと学び
 - ・つながりたい、学びたい
 - ・困ったことを解決したい
 - ・横のつながりをもって自身の成長へつなげるため

ブランド・アイデンティティ

長野県社会福祉会は
「豊かな学びとつながりで自己実現をめざす仲間」です

2. ブランド・アイデンティティ策定から得たもの
 - (1) 20代の若い会員の積極的な関りでホームページの作成が進んだ
 - (2) 入会促進に向けたターゲットを明確にできた
 - (3) 若い社会福祉士は何を求めているかを明確にできた
 - (4) 入会促進に向けて取り組むべき方向性が明確にできた
 - (5) 県士会の存在意義を再確認できた
3. 入会促進に向け取り組むべきことが明確化
 - (1) ブランド・アイデンティティが策定でき、今後の取り組むべきことはブランディングそのものである。
 - (2) 学生へ入会のメリットの働きかけを進める。
 - (3) ブランド・アイデンティティを活用し、ホームページに限らず SNS 等を活用した積極的な取り組みが必要である。
4. ブランディングで取組んだ新たな若い力を原動力に輪を広げる
 - (1) ブランディングメンバーの繋がりを大事にし、新たな活動グループを組織し応援していく。
 - (2) 新たな若い会員グループが中心になって、若い仲間を増やし、活動を活性化していく。
 - (3) 若い会員の声や風を会活動に反映させていく。
5. 新たなホームページの作成（リニューアル）
 - (1) ブランド・アイデンティティを活用し、ターゲットを明確にしたトップページ作成ができた。
 - (2) 若い会員の顔や生の声を載せることでさらに強いメッセージが発信できた。

<p>活動実施を 通じての課題</p> <p>実施していく中で、見えてきた活動遂行における課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県士会のブランド・アイデンティティと外からみられる会の価値イメージ同じくなるような活動を如何に展開していくか。 2. ブランディングに取り組んでもらった20代若い会員たちの継続的な取組のサポートとそれを核にした会活動の活性化を如何に進めるか。 3. 若い人たちはより気軽に情報キャッチできる SNS が主流になりつつあり、ホームページから今後どのように SNS 等へ広げていくか。 4. 活動を視覚的にアピールできる動画作成まではできなかったが、今後作成していく必要もある。 5. 大学生の時から社会福祉士会に入会するメリットを如何にアピールし働きかけるか。 6. コロナ禍で余計に失われている会員同士のつながりを如何につくっていくか。 7. 若い会員の加入促進は、全会員が意識して取り組んでいかねばならない課題である。 8. 今回の取組みを機に、若い人たちの入会促進が図られたかどうかを検証していく。
<p>活動の実施状況・実施結果に関する情報の公開</p> <p>あてはまるものにチェックと内容詳細を記入ください</p>	<p>※貴法人のホームページでの公表は必須となります。</p> <p>情報の公開方法（複数選択可）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 （ホームページで公開する）</p> <p><input type="checkbox"/> その他 （ ）</p>

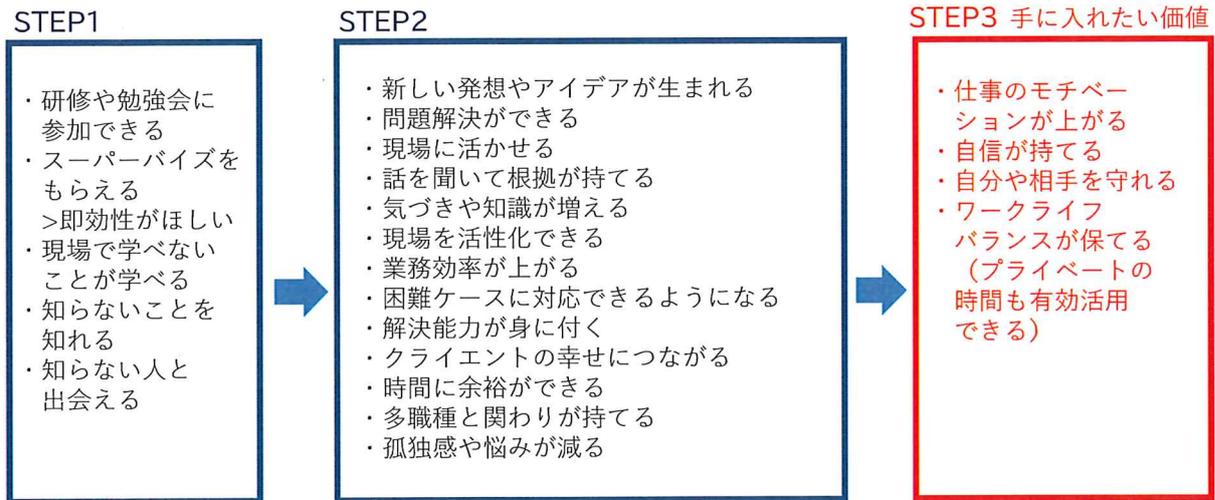
【ターゲットを考える】

1) 長野県内に住む20~30代の社会福祉士有資格者で、長野県社会福祉士会への入会を必要としているのはどんな人が、どんな問題を解決したいと思っているか。※できるだけ具体的に

<p>■どんな人？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向上心がある ・勉強したいという意欲がある ・勉強したことを職場に活かしたい ・アイデアや発想を広げたい ・仲間を増やしたい ・横のつながりを増やしたい ・相談業務を担っている 	<p>■どんな問題を解決したい？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃の支援の中での問題を解決したい ・業務の不安を払拭したい <p>■入会するのはどんなタイミング？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士に合格した時 ・職場の人に入会を薦められた時
---	---

2) この人が本当に望んでいること（手に入れたい価値）は何か。

▼長野県社会福祉士会に入ると・・・



【ブランド・アイデンティティ策定】

<p>●ターゲットは誰か</p> <p>長野県内に住む20~30代の社会福祉士有資格者</p>	<p>●当会の特長はなにか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分野（職種）や年齢が様々な人が所属している ・他分野の気づきを得ることができる ・県内のソーシャルワーカーとのつながりを持っている ・横のつながりがある
<p>●何を期待されているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つながりを作りたい ・学びたい ・仲間とのかかわりを持ちたい ・現場の仕事に活かしたい ・気づきを得たい 	<p>●提供したい価値はなにか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その人らしさの実現 ・自信を持ってもらえる ・仕事のモチベーションにつなげる ・人々の暮らしを支える ・知識や技術を得て、利用者の幸せにつなげる

ブランド・アイデンティティ策定

(公社)長野県社会福祉士会様 2022.11.30実施



2) どんなブランドなのか? (こう思われたいを文章化する)

なぜ長野県社会福祉士会に入会することをおすすめするのか
提供価値とその裏付け

- ・豊かなつながりと学び
- ・つながりたい、学びたい
- ・困ったを解決したい
- ・横のつながりを持って、自身の成長へ繋げるため
- ・相談できる
- ・つながりを絶やさない社会福祉士会
- ・つながり続ける社会福祉士会

3) ブランド・アイデンティティ 案出し

長野県社会福祉士会は [] です。

- ・その人らしさの実現
(叶える、支える、ともに歩む、ウェルフェア)
- ・会員一人ひとり課題解決に取り組むチーム
- ・利用者の幸せにつなげられる場所
- ・人々の暮らしを支えるチーム
- ・繋がりや気づきを育む場
- ・あなたにとっての繋がりや成長の場
(個人に語りかけるように)
- ・個と個がつながりあえる、学びあえる場

■意見交換

※渡嘉敷さんメモより

- ・ **繋がり** を入れられると良い / **個人に語りかける言い方** も良いかな
- ・ 抽象的な語になってくるかな。説明する感じはちょっと・・・
→ **吉澤より: 抽象度は皆さんが「ちょうどいい」と感じるところで決めてください。**
- ・ 利用者へ向けた方が良い? 職員や所属会員に向けた方が良い?
→ **吉澤より: HPを見るターゲットさんを基本に考えてください。**
- ・ 会員になっていない人に向けて (**自分の体験談**)
- ・ 両方の意味 (**利用者も職員も**) が含まれている
- ・ 名詞で (**世の中が優しい**) を表現 / 実践に役立つ (**学びを振り返る**)
- ・ バスの停留場のように **立ち止まって考えられる** (新しい出発)・・・有資格者向け
- ・ 今まで入っていなかったけど **入って良かった** と思える
- ・ 一緒に学んだ人が施設を離れていった過去があり、寂しい気持ちがある → **こういう人たちが関われる場** があれば良いかな
- ・ 入る人に **メリットを感じてほしい** → 入らなくても良いのだが・・・でも入ることのメリットも気づいてほしい。と気づけた

○繋がりについて

- ・ ピンポイントの人に向けて (年齢や分野関係なく)
- ・ 専門職としての支援方法を学べる (ピンポイント)
- ・ 個人が困ったときに関われる (希薄)
- ・ コロナ禍であるので関わりが持てる繋がり (広い意味)
- ・ ピンポイント (個) 傾聴聞いてもらえる場 (同じ施設) (環境が似た施設)
- ・ 困ったことの方を解決したい (横の繋がり) (候補も検討できる)
- ・ 個と個が共感できる
- ・ その後が気になる (連携や情報共有出来る繋がり) → コンプライスを学びながら
- ・ 相談先や繋がりがあるのは費用が安い。

■宿題 これまで出たものを全て考慮して、ブランド・アイデンティティを作ってみてください。

4) ブランド・アイデンティティ 要件チェック

- 求められること (期待) が入っているか
- できること (能力) が入っているか
- やりたいこと (意思) が明確か
- 簡潔にまとめられているか (20文字程度)

ブランド・アイデンティティ策定

(公社)長野県社会福祉士会様 2022.12.08実施



【前回の宿題】ブランド・アイデンティティ案出し

長野県社会福祉士会は [] です。

- ・長野県社会福祉士会は**繋がりに価値を見いだせる場**です
- ・長野県社会福祉士会は**新しい自分への近道**です
- ・長野県社会福祉士会は**ともに支え合う学びの場**です
- ・長野県社会福祉士会は**優しいあなたを応援できる場**です
- ・長野県社会福祉士会は**思いを共感できるチーム**です
- ・長野県社会福祉士会は**人とつながり知識を深める社会福祉士の拠り所**です
- ・長野県社会福祉士会は**その人らしい生活を支えるために共に考える場**です
- ・長野県社会福祉士会は**会員一人一人の課題解決に取り組むチーム**です
- ・長野県社会福祉士会は**SDGsに真剣に取り組む仲間**です。
※ SDGs：その人の幸せ

■意見交換

- ・最後の言葉（締め言葉）は何か
場、近道、チーム、拠り所
→チームについては「**仲間**」という言葉の方があうのではないかと
- ・「つながり」については、そこが求めているところではないので、**つながりの先を表現した方がよい**のではないかと。
- ・共に考えることで学びが深まる／幸せは人それぞれ

■これまでの過程を踏まえての吉澤案（参考用）

※以前皆さんに出していただいた「手に入れたい価値」で、**仕事のモチベーションが上がること、自信が持てること、自分や相手を守れること、ワークライフバランスが保てること・・・**を言い換えると何になるか→「**自己実現**」という言葉を使ってみました。

- ・長野県社会福祉士会は
豊かな学びとつながりで自己実現を叶える仲間です。
- ・長野県社会福祉士会は
個々の課題解決と自己実現をめざす仲間です。

- 宿題 これまで出たものを全て考慮して、ブランド・アイデンティティを作ってみてください。
※次回最終回です。まとめていく方向で考えてみてください。

4) ブランド・アイデンティティ 要件チェック

- 求められること（期待）が入っているか
- できること（能力）が入っているか
- やりたいこと（意思）が明確か
- 簡潔にまとめられているか（20文字程度）

★ブランド・アイデンティティについて

長野県社会福祉士会は [] です。

- ・この [] の中に入るもので、基本的には外に出さず、自分たちで共有するもの
- ・20文字程度で完結に表現するので、できるだけ意味をたくさん入れるために言葉の重複などはさける
- ・最後の言葉は「仲間」にする方向で考える (※前回より)

■宿題について意見交換

- ▷自己実現に近づくヒントが見つかる場
- ▷“今よりちょっと働きやすく”が見つかる場
- ▷仲間とつながり・ひろがり一緒に長野の福祉を考える場
- ▷社会福祉の未来づくりと自己実現をめざす仲間
- ▷豊かな学びとつながりで自己実現を叶える仲間

- ・つながりの先を目指せる事を入れたい
- ・豊かな学びが自己実現につながる→またはそれに近づける事を表現 (ヒント)
- ・色々盛り込まない
- ・知識を得ることにより働きやすくなる場
- ↑
- ・親しみやすさを表現したいね

- ▷誰もが幸せに暮らせる共生社会に向けて自分を磨き繋がり創造する団体です

創造→ソーシャルアクション

自分→会員

繋がり→仲間作り

磨く→研修や知識を通して自己研鑽

- ・盛りだくさんをギュッとしたい
- その中から **自分をみがく** という部分は入れても良いかな。

■言葉の言い換えをしながらのまとめ

- ・自己実現→困り感の解消
- ・自己実現を入れると、負けちゃう気がする。→言い換えは **働きやすく**
- ・豊かな学び、自分を磨く
- ・自己実現→誰もが幸せ、長野の福祉をよくしたい (変えていきたい)
- ・最先端を学べる場所に行きたい
- ・一人ひとりが未来を作っている→未来作り

自己実現→働きやすい、誰もが幸せ

- ・目の前の相手・誰か・会員→誰の幸せ?

- ・ **豊かな学びとつながり** で自己実現を叶える仲間です。
人々を幸せにする
社会福祉の未来を作りたい
その人らしさを叶える実現する

自己実現がどういう意味なのかを (考えてもらう) (含み)

叶える→目指す。(ハードルを少し下げることができる)

自己実現はターゲット以外の人に捉えてもらう

自己実現→かっこいい 幸せ→本質

その人らしさに近づく→らしさ (多様性を直ぐにイメージ出来る) (のばす、認め合う)

▶メンバーさんそれぞれに質問。どうして社会福祉士会に入ったの?

- ・みんな入るものだった
- ・メリットって何かな?

★HP トップページ案を見て

- ・明るい未来が見える、いいことだけでなく問題面も含んでいる
- ・自分が輝くより他の人を輝かせたい

→ここでは、「長野の社会福祉を変えたい」という志の高い人よりも、「普段の仕事に悩みを抱えて解決したいと思っている人」をターゲットとして考える方がよいのでは。

※渡嘉敷さん、今回も話し合いのメモをありがとうございました。

■ブランド・アイデンティティ決定

長野県社会福祉士会は、

豊かな学びとつながりで 自己実現をめざす仲間です。

4) ブランド・アイデンティティ 要件チェック

- 求められること (期待) が入っているか
- できること (能力) が入っているか
- やりたいこと (意思) が明確か
- 簡潔にまとめられているか (20文字程度)

Member's Voice

— 会員の声 —



入会したきっかけ、入会してからの状況や経験など会員の声をご紹介します。

会員の声
を読む

入会の案内

資料請求・お問合せ

会員登録

What you can do after joining

— 入会したらできること —

社会福祉士として知識を深めたい

- 基礎研修
- [生涯研修センターへ](#)
- 各種研修会 ※随時開催
- [お知らせへ](#)

自分のソーシャルワークを振り返りたい

- 基礎研修
- [生涯研修センターへ](#)
- ソーシャルワーク実践を
発表しよう、聴いてみよう
- [説明をひらく](#)

社会福祉士仲間に相談したり一緒に活動してみたい

- 地区学習会 ※随時開催
- [お知らせへ](#)
- 委員会活動をしてみよう
- [本会についてへ](#)

成年後見人になりたい

- 成年後見人を目指そう
- [ばあとなあながのへ](#)

職場で実習指導者になってと言われた!

- 実習指導者講習会
- [生涯研修センターへ](#)

専門職としてキャリアアップしたい

- 認定社会福祉士を目指そう
- [生涯研修センターへ](#)

災害支援活動に参加したい





池田 菜奈さん

入会年

2021年

勤務先

山形村役場 保健福祉課

NANA IKEDA



長野県社会福祉士会へ入会したきっかけは何ですか。

社会福祉士としての繋がりを作りたいと考えたことです。以前、配属先に社会福祉士は私1人だったことがありました。当時、前任者との入れ替わりで着任したため右も左もわからない状況で、「自分一人だけではどうすることもできない」という漠然とした不安がありました。そんな時に「相談相手や仲間を見つけられたら」と思いました。

また、当時の長野県社会福祉士会の会長が母校の教員だった、ということも入会を意識したきっかけです。



長野県社会福祉士会に入って心境の変化はありましたか？

社会福祉士の合格から間もなく入会を決めました。入会してみると「専門職という集団に自分自身が含まれている」ということを意識するようになりました。実はもともと福祉の道へ進むことすら考えておらず、いま思うと志の低い学生でした。もしかすると長野県社会福祉士会へ入会しない道もあったのかもしれませんが、個としてではなく組織として、知識を積み重ねたり問題に対応していくということに専門職らしさがあるのではないかと感じています。



長野県社会福祉士会に入って嬉しかったできごとは何ですか。

一番は実際に相談に乗ってくれる相手ができることです。私は普段、介護保険の相談や高齢者と障がい者の虐待対応と措置、成年後見制度と首長申立て等々、分野を越えて業務にあたることが多いです。長野県社会福祉士会では行政の方や外の施設の方とお話ができる機会が多く、その時々で必要な情報を仕入れられるため、おかげさまで業務を円滑に進められるようになってきています。そして自分自身のメンタルヘルスを守る意味でも、頼れる仲間がいることは心強いです。



村上 絵梨加さん

入会年

2020年

勤務先

長野市社会事業協会
長野市ひかり学園

ERIKA MURAKAMI



長野県社会福祉士会へ入会したきっかけは何ですか。

「自分の社会福祉士としての役割や価値は何か」を考えたいと思ったからです。社会福祉士の資格を取ってから、実際の現場で「自分は何を求められているのか」「社会福祉士として何が出来るのか」といった疑問を持つようになり、もっと実践に活かせる知識や技術を身につけたいと考え当会に入会しました。ここでは福祉の様々な分野の研修に参加することができ、自身の携わっている分野にとらわれない、多角的な視点を養うことができると感じています。



あなたにとって長野県社会福祉士会はどんな場ですか？

社会福祉士の仕事に求められる知識は幅広く、福祉の制度やサービス、求められるニーズも日々変化しています。そういった変化に対応するために、当会の研修会に参加し、新たな発見や日々の支援の振り返りに役立てています。また福祉の仕事を楽しんでいくためには、仲間づくりも重要だと考えています。当会では研修などを通じて出会った仲間と、職場以外のネットワークをつくることのできるの、困ったときには相談ができ、支援の幅や今後の可能性を広げることができます。頼れる先輩方に出会えるところも、社会福祉士会の魅力です。



これから長野県社会福祉士会への入会を考えている方へメッセージ

これから社会福祉士の資格を取ろうと考えている方も、すでに資格をお持ちの方も、福祉の現場で孤独を感じたり行き詰ってしまうこともあるかと思います。支援の方向性に迷ったときには、当会の仲間とのつながりが大きな励みになります。様々な分野で人々の生活を支える私たちの仕事は、一人でできるものではありません。一人感をコミュニティで解決していく、そのために最新の福祉の情報や県内の取り組みや勉強会を通して、現場でできることが必ずあります。ぜひ入会して、私たちと一緒に長野県の福祉を盛り上げる仲間になっていただけたら嬉しいです。



太田 雅之さん

入会年

2017年

勤務先

ワンズ株式会社

MASAYUKI OHTA



長野県社会福祉士会へ入会したきっかけは何ですか。

数年前に相談支援専門員の職を担うことになったときでした。それまではずっとケアワーカーとして障がい福祉の仕事に従事していましたが、相談支援専門員になって実際に相談援助を行ってみると、自分の知識が乏しく、無力さを痛感しました。「もっと専門的な知識を学ばなければ仕事にならない」と悶々としていたところ、**社会福祉士会の研修制度**が目にとまり入会することにしました。



長野県社会福祉士会に入会してよかったことは何ですか？

自分が従事している障がい福祉の方はもちろん、それ以外の専門職の方とも出会えたことです。他の職種の方との交流や情報交換はとても刺激的で、自分の立ち位置や価値観を見直すキッカケとなっています。また意欲的に活動されている社会福祉士会のメンバーの活躍を知ること、「自分には何ができるだろう？」と日々問いかけながら業務に従事することができています。



長野県社会福祉士会に入って心境の変化はありましたか？

「心境が変化したきっかけ」というはっきりとしたものはないのですが、会員になると長野県社会福祉士会や各地区で企画される研修、委員会活動などに参加できるようになります。そこでは多くの実践事例や会員のフィロソフィー（ものの見方や考え方）に触れることができます。そういった機会を多く持つことで、自分自身に対する感覚がブラッシュアップしていくように感じています。



西村 昭太さん

入会年

2010年

勤務先

ケ・セラ社会福祉士事務所

SHOTA NISHIMURA



長野県社会福祉士会へ入会したころの話を聞かせてください。

今から思うと恥ずかしいのですが、大学卒業時に資格に合格できず、さらに翌年は大雪で会場にたどり着けず...。そんなことが重なり、資格を取得するのに数年かかりました。その分、長野県社会福祉士会に入会した時はとても嬉しかったのを覚えています。

新卒で働き始めたころ周囲に社会福祉士資格を取得している人はそれほど多くありませんでしたが、「ソーシャルワーカー」として職能団体に入会することは、社会福祉士として働く上でも大切なアイデンティティの一つだと、当時から今でも思っています。



お仕事で大切にしていることは？

私たちの仕事は「多様な価値観を持つ人たち」、時には「自分とは全く異なる考え方をもつ人たち」と接点を持ち、様々な支援を行うことです。支援の中では答えが分からなかったり、そもそも答えがなかったり...。この仕事は本当に難しいことばかりです。

そんな時、私たち社会福祉士の拠り所となるのは専門職としての倫理綱領だと思っています。日々、道に迷ったりつまずいたりしながら、倫理綱領に立ち返り、それを仕事に活かしていくことを大切にしています。



これから長野県社会福祉士会への入会を考えている方へメッセージ

私は元々医療ソーシャルワーカーで、今は“社会福祉士事務所”を開設し運営しています。最初は小さかった事業所ですが、これまでにたくさんの人材に恵まれ、徐々に大きくしていくことができました。そして2022年には、新たに大きな施設の運営もできるようになりました。これはすべて長野県社会福祉士会での繋がりがあってのことです。

みなさまも長野県社会福祉士会にご入会ください。必ずあなたにとって大きな財産となるはずです。

入会のご案内

資料請求・お問合せ

会員ログイン